

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォーリーフ藤が丘校		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の特性、レベル、必要性に合わせた学習などの支援を行っている	利用者が何を必要としているか把握し、学習、SSTや作業療法などを行い、様々な形で支援を行っています。	今後も様々な課題を持った利用者が増えていく事が予想されるので、今までのやり方を踏襲する一方で新しい考え方や支援を取り入れていく必要があるので、講習や交流会等を通じて吸収していきます。
2	幅広い年齢層の受入れをすることで、上の学年の子が下の学年の面倒を見ることができる。	上の学年の子が下の子の面倒を見れるような声掛け意識づけをしています。遊びに誘う時に高学年の子から声掛けをしてもらい、低学年の子がスムーズに遊びに入って慣れていける様に工夫をしています。	来年度は年齢層が少し下がり、より近い年齢層同士が面倒を見合う事になるのでトラブルが起きない様に見守りを強化して声掛けをしていきたいと思えます。
3	有資格者が多いので、経験を生かした支援を行う事が出来る。	支援の最中や話し合いを行う時に様々な意見が出やすく、より質の高い支援を目指す事が出来ています。また、お互いにアドバイスが出来るので、新たな視点や意見を生み出しやすい土壌が出来上がっています。	有資格者から無資格者や経験の少ない指導員に、アドバイスをしやすい環境作りを励んでいきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースが限られているので身体を動かす支援などが行いづらい。	学校のように机を並べているためスペースに限りがある	他所の広いスペースを借りるなどして長期休みなどを利用し、身体を動かせる機会を作っていきます。また、省スペースで行える支援を探して取り組める様にしていきます。
2	職員間の情報共有。	個々の間で話し合いが行われ全体に周知されていないことがたびたびあります。	非常勤の方は曜日ごとに変わるので支援に関する事については意見などを集約して共有できる仕組みを作ります。
3	面談の仕組み化ができていない。	年間スケジュールなどが組めていない。	アセスメントの時期に行えるように具体的に計画し、実施していきます。